

# 共助の心でだれもが暮らしやすい共生のまちづくりを考えよう！

## コメディ短編映画「バリアフルライフ」上映会&監督・出演者と市民参加者による座談会

### 1 取組の目的・全体像

#### 【目的】

- これまで三鷹市の市民活動に縁のなかった層を対象とする啓発活動によって地域コミュニティの新たな担い手づくりに取り組む。
- 三鷹市に提出したマチコエの政策提案を市民の立場で自ら実現する。

#### 【実施内容】

- 開催日時：2024年2月3日（土）14：30～16：15
- 開催場所：三鷹産業プラザ701会議室
- 参加人数：総計 **57名**
  - スタッフ（10名、うち**非マチコエメンバー4名**）
  - ゲスト・司会（4名）
  - 市民参加者（**43名**）
- 取組概要：コメディ短編映画「バリアフルライフ」を鑑賞する。鑑賞後、本映画の監督や出演者と話をする機会を設けて、共助の心で誰もが暮らしやすい共生のまちづくりを考える「共感の場」を作る。

#### 【市民参加者 属性】

イベント終了後に参加者向けのアンケートを実施したところ、32名から回答があった。アンケートにより判明した参加者の属性は以下のとおり。

- 全体の7割弱が三鷹市内から参加。うち5割は下連雀在住。
- 50歳代から80歳代が全体の7割強（うち**50歳代・60歳代が全体の半分弱**を占める）。最年少は保育園児（親子連れでの参加）。



【広報チラシ (A4 サイズ)】

## 2 取組のポイント

### 【モチーフの選定と事前の広報活動】

- 市民活動に縁のなかった層をターゲットとするため、難しい社会課題を取り上げながらも肩のこらないコメディ短編映画をイベントのモチーフに選定し、従来の市民活動とは一線を画すビジュアル戦略と広報展開を狙った。
- 広報用に **A4 チラシ 1,000 部**、**A3 ポスター 100 部** を制作。すべて配布した。

### 【監督・出演者をゲストに招いての座談会】

- 地域コミュニティの新たな担い手づくりのきっかけとして、ゲストには健常者が障がい者を描き演じた実体験・苦勞から得た気づきや学びを生の声で語ってもらい、それに対する観客（市民参加者）の質疑応答を交えながら、共助・共生のまちづくりに対する共感の場を作ることを目指した。

### 【申請メンバーの役割】

- 企画・進行などイベントプロデュース全体に関わる業務に従事。
- 広報活動として三鷹市内外 **40 カ所以上** の施設・団体・学校にチラシ・ポスターを配架。
- チラシ・ポスターなどの紙媒体の他、特設 WEB サイトの制作、SNS（Facebook、X）による周知活動も展開。



JR 三鷹駅構内三鷹市ラックにおけるチラシ展開  
(1ヶ月で130枚の配布実績)



市内ビル正面玄関前における  
ポスター・チラシの展開

「バリアフルライフ」上映会 & 座談会のお知らせ

2024年2月3日(土)に三鷹産業プラザ(東京都三鷹市)で開催されるコメディ短編映画「バリアフルライフ」の上映会 & 座談会のお知らせです。入場の事前予約もこちらで承ります。

【2024年1月30日】  
当WEBサイトにおける入場の事前予約は予定数に達したため締め切りました。  
事前予約いただいたみなさまにおかれましては当日のご来場をお待ちしております。

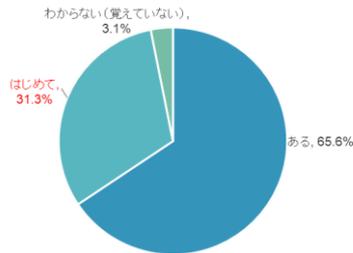
特設 WEB サイト (スマホ画面)

### 3 取組の成果（アンケート回答者数 32 名）

#### 【目的の達成度合と、その成果】

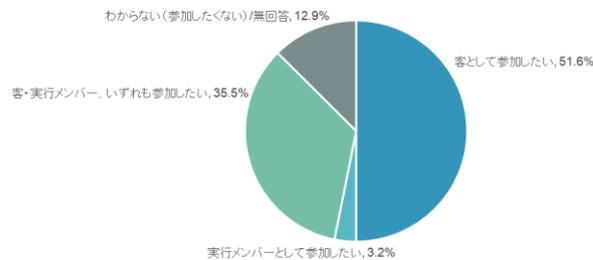
##### ■ 今回のような市民が主催するイベントへの参加経験

⇒ 「はじめて」との回答が 3 割強



##### ■ 今回のような市民が主催するイベントへの今後の参加意向は 9 割弱

（「客として」「実行メンバーとして」「そのいずれも」を合算）



市民主催のイベントへの初参加が約 3 割。  
イベント実施後、今後の参加意向は 9 割弱。  
市民参加の取り組みへの関心と理解は得られたと考えたい。

#### 【参加者の声（抜粋）】

- よりよい街づくり、暮らしやすい街、楽しい街になるのは、今回のようなイベントがたくさんあることが大切だなあと感じました。
- このようなイベントは初めてであったので、楽しかった。
- 毎日の生活の中で気づかない大切なことを気づけるような、良い企画でした。今後も様々なテーマでこのような企画があると良いと思います。
- スラック（投稿のリンク）で 1 回、この映画を YouTube でみていて、座談会があるという事で参加しました。また、もっともっと、こういう映画やってもらいたいです。
- 三鷹での（三鷹市をロケ地・舞台にする）映画、親子で出たいです。
- いろいろ考えるキッカケになった。よかったです。
- もやもやした気持ちをシェアできる場所がある事が大事！ 楽しかったです。

共助と共生のまちづくりというテーマについても、  
平易に伝えることができ、共感の場を作り得たと考える。

#### 4 次年度以降の取組について

##### 【今後の展望】

- 映画上映のほか音楽や市民参加型の体験イベントなど、市民参加者を幅広く集め得るモチーフをその都度検討し、「地域共生社会」を考える事業（イベント）としてブラッシュアップしながら実施する考え。
- さらに、活動の継続のみならず拡大も視野に入れ、既存の地域団体との連携も模索する。

##### 【現状の課題点】

- イベントへの市民参加、40歳代以下は4分の1（アンケート結果より）。  
市民参加の新たな担い手発掘のため、40歳代以下の若い世代の取り込みを目標にイベントのモチーフを選定し、その広報活動に注力したがやや不満の残る結果となった。  
⇒解決の方向性) 若年層へのリーチ拡大のため、Web 広報のさらなる拡充や日常における世代を超えた人的交流が、その解決の糸口として考えられる。
- 取組を企画立案・実行するにあたり、金銭的インセンティブのないボランティア活動で事業の質を安定的に維持しながら成功に導くことは並大抵でないことを痛感した。  
⇒解決の方向性) 市が取り組んでいる地域ポイントや民間事業者・学校との連携、またマチコエのような市民主体の取組により機運の醸成を図りたい。



会場（三鷹産業プラザ 701 会議室）内の様子

<取組の報告を受けた選考委員からの主な意見（助言等）>

- ・地域コミュニティの新たな担い手づくりに取り組むという目的を実現するためにも、イベント後も参加者同士が緩やかにつながるようにするなど、次の活動の動機付けを検討したらよいと思う。
- ・イベントに参加したいと思える人を増やすためには、取組内容をわかりやすく伝えることが大切だと思う。イベントのタイトルをわかりやすい内容にするなどの工夫をすれば、実施側の参加者も増え、新たな担い手づくりに繋がると思われる。